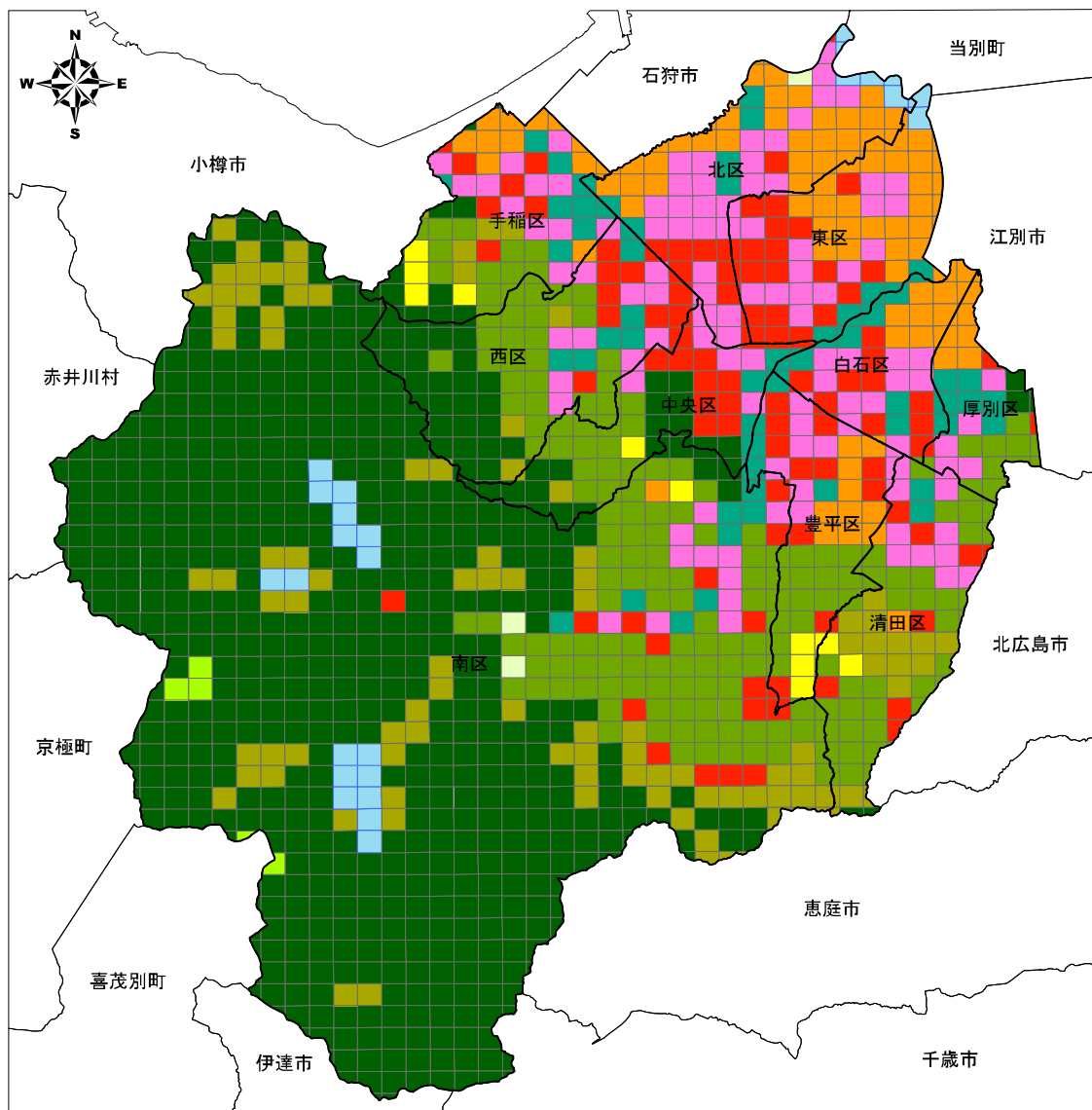


生態系の分布状況



0 3 6 12 キロメートル

凡例

- | | | |
|---|---|---|
| 自然度の高い地域 | 山地湿原 | 都市公園 |
| 二次林 | 草地 | その他 |
| 人工林 | 水田 | 湖沼 |
| 河畔林 | 畑地・雑草地 | 開放水域 |

生態系一覧

生態系レベル	自然度	定義	注目すべき生物	植生	歴史性	写真	例
森林	自然度の高い地域	9-10 人為の影響が少ない自然林や自然草原	エゾヒグマ、エゾクロテン、クマタカ、クマゲラ	エゾマツ - ダケカンバ群落、ササ - ダケカンバ群落、エゾイタヤ - シナノキ群落、エゾマツ - トドマツ群集、下部針広混交林、ササ自然草原	標高が高く、河川や道路から離隔のある山地の稜線に近い範囲は、明治後半から大正期にかけての大規模な森林伐採の影響が小さく、さらにその後の植林事業からも免れたため、現在も高い自然性が維持されている。		空沼岳万計沼、奥手稲、八剣山、藻岩山、円山、野幌森林公園
	二次林	7-9 過去に人為的攪乱を受けた樹林地で、樹林や林床の構成種の多様性が高い	キタキツネ、オオタカ、ハイタカ	エゾイタヤ - シナノキ群落、ミズナラ - カシワ - コナラ群落	市街地や主要河川周辺の山麓や丘陵上及び斜面、更に低地部は、明治後半から大正期にかけて盛んに樹林地が伐採され、昭和中期（戦後）まで各所で継続的に伐採が行われていたが、高度成長期以降は樹林地として回復している。平成期には、市街地（住宅地）の拡大により、その範囲がやや縮小している。		白旗山、東部緑地、平岡公園、滝野すずらん丘陵公園、旭山記念公園、宮丘公園、手稲かっこうの森
	人工林	6 単一の樹種を植栽するため構成種が単調になる。林床も単相化しやすい。	キタキツネ、オオタカ、ハイタカ	トドマツ植林、常緑針葉樹植林、落葉針葉樹植林	主要河川周辺の山麓や丘陵上は、明治期以降に伐採と植林が行われ、昭和中期以降の市街地近傍の丘陵地にカラマツ植林が多くみられる。		白旗山(カラマツ林)、定山溪の河川周辺(トドマツ植林等)
	防風林	6-9 過去の樹林を残地、あるいは新たに植栽した樹林(構成種の多様性は場所により異なる。)	エゾリス、アカゲラ	セイヨウハコヤナギ、ヤチダモからなる樹林	典型的な防風林は低地部においてみられ、明治期の開拓時に、強風から農作物を守るため自然林の一部を残置したことから始まったとされ、大正期にセイヨウハコヤナギやヤチダモがさかんに植林された。昭和期以降も周辺住民の植樹や間伐等手入れが多く入り、人の暮らしと密接に関係している。		ポプラ通、手稲前田、屯田町
	湿地林	 湿性草原周辺に分布するハンノキやヤチヤナギによる樹林地	(札幌市内にはほとんどみられない)	ハンノキ - ヤチダモ群集、ヤチダモ - ハシドイ群落 (札幌市内にはほとんどみられない)	札幌市の北側～東側は、明治期～大正期にかけて「荒地」に分類される湿地が広がっていたと考えられることから、湿地の一部にハンノキやヤチヤナギによる湿地林が分布していたと考えられるが、大正期以降の農地開発や市街地化により、これら低地の「荒地」はほとんど消失している。		(札幌市内にはほとんどみられない)
	河畔林	7-8 ヤナギ類、ケヤマハンノキ等により構成される河川周辺の樹林地	マガモ、カワラバト	ヤナギ類、ケヤマハンノキ等	豊平川沿いには明治期より樹林地が分布しており、昭和中期まで、河川沿いの樹林地が多く確認される。これらの一部は現在みられるヤナギ類等を主体とした河畔林であると考えられる。昭和中期以降は市街地の拡大等により、その面積はきわめて小さいものとなったが、河川の水際や低地部の河川沿い等に連続した樹林地として分布している。		豊平川河畔緑地、月寒川河畔緑地、東屯田遊水地
	都市公園	1-2, 6-9 市街地内に計画的に配置された植生域	トビ、ハシブトガラス	市街地	主に昭和中期以降に整備が本格化した市街地及び近傍の公園で、二次林等樹林地を残置したものや、セイヨウハコヤナギ等の外来樹種を植栽したものなど様々な種類がある。公園によっては、樹林地が成熟してきているものもみられる。		前田森林公園、五天山公園、モエレ沼公園、川下公園

生態系一覧

生態系レベル		自然度	定義	注目すべき生物	植生	歴史性	写真	例
湿原	山地湿原	10	地形や水文環境等により草原の状態に極相に近い状態となった植生	エゾサンショウウオ	スゲ類、ササ類	山地部の標高の高い箇所に分布しており、人為による改変が極めて少ないことから、高い自然性が維持されている。		無意根山大蛇ヶ原、中山湿原
	平地の残存湿原	5	氾濫原や谷地の湿地等、低地の平地にみられる湿性草原	イトトンボ類	ヨシ、スゲ類	札幌市の北側～東側は、明治期～大正期にかけて「荒地」に分類される湿地が広がっていたと考えられることから、札幌市は過去に広大な湿地を保有していたと考えられる。大正期以降の農地開発や市街地化により、これら低地の「荒地」はほとんど消失している。現在は、低地部の湖沼近傍や、丘陵下部の湧水箇所周辺等でわずかに確認される。		篠路福移湿地、北大植物園、知事公館、清華亭付近
河川・湖沼	豊平川	-	-	サケ	-	広大な集水面積を保有し、過去に大規模な出水を記録している。高度成長期あたりに下流部の直線化が行われ、中・下流域の状況は大きく変化している。		
	中小河川	-	-	オショロコマ、ハナカジカ、サクラマス	-	中・下流部は、昭和期以降大きく改修されている。平成期以降は、近自然工法や河川緑地整備等自然を回復させる取り組みがみられる。		
	三日月湖	-	-	イバラトミヨ、ドジョウ	-	明治期は「荒地」に区分される湿地の中の河道であったが、大正期以降の農地開発により周辺環境は耕作地となった。一時的に近傍に樹林地が成立したこと時期もあったが、現在は畑地や住宅地が周囲に分布している。		モエレ沼公園
	ため池		(札幌市内にはほとんどみられない)					(札幌市内にはほとんどみられない)
草地		5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い二次草原		ササ草原、ススキ草原			手稲山のススキ草原、西岡のササ草原
畑地・雑草地	耕作地	2		エゾヤチネズミ、ノビタキ、コサナエ	畑地、牧草地	明治期にその開発が始まり、大正期には市街地周辺の各所に分布がみられた。高度成長期では市街地をとりまいてひろく分布していたが、平成期以降、宅地化等により急速に縮小している。		北区、東区、手稲区等にまとまって分布
	耕作放棄地等	4.5			耕作放棄地雑草群落			
その他		1		ドブネズミ、クマネズミ、ハシブトガラス	市街地、工場地帯、ゴルフ場			中央区等の市街化区域に分布 ゴルフ場は郊外に分布

現地踏査結果一覧

No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
1	奥山の自然林	自然度の高い地域	空沼岳万計沼	樹林、湖沼	エゾマツ-トドマツ群集	支笏洞爺国立公園 第2回緑の国勢調査特定植物群落 (空沼岳万計沼針葉樹林)	奥山	湖沼	針葉樹、ナナカマド、カンパ類、ササ類	クジャクチョウ、アキアカネ、マイマイカブリ、クマゲラ、カケス、カラ類	空沼岳への登山道途中にあり、景観の良い休憩場となる。周囲は針広混交林で沼の水際には抽水植物が生育している。万計沼までの登山道は、9/5の大雨による増水によって一部崩壊していた。	空沼岳への登山道途中にあり、登山客の休憩場となっている。また、岸には万計山荘があり、登山者の宿泊場所にもなっている。	
2	奥山の自然林	自然度の高い地域	奥手稲	樹林	エゾマツ-ダケカンバ群集	第5回緑の国勢調査特定植物群落 (奥手稲のエゾマツ_トドマツ林)	奥山		ミズナラ、ハリギリ、アカエゾマツ、カンパ類、ツタウルシ、ナナカマド、タラノキ、イタヤカエデ、アカイタヤ、ハウチワカエデ、オヒョウ、ミヤマハンノキ、キハダ、オガラバナ、コシアブラ、ヤマナラシ、ヤナギ類	アキアカネ、キジバト、サッポロフキバツ、イブキヒメギス、エゾヌキ、キタキツネ、カケス、コガラ、アサギマダラ	低地では、ミズナラ、カエデ類が多く生育しているが、標高が上がるにつれこれらの種は少なく、針葉樹やカンパ類が多く生育していた。多くが天然林と思われるが、一部では針葉樹の植樹による人工林もみられた。	登山道ではないが、作業道から奥手稲山頂付近まで登ることができる。作業道へは、王子緑化採石場の敷地を通る必要性があり、利用者は少数であると思われる。	オオハングソウ
3	奥山の自然林	自然度の高い地域	八剣山	樹林、岩壁	エゾイタヤ-シナノキ群落	八剣山自然景観保護地区	奥山		ミズナラ、ナナカマド、ヤマウルシ、エゾイタヤ、ハウチワカエデ、ヒロハツリバナ、アオダモ、アズキナシ、ホオノキ	カケス、センチコガネ、マイマイカブリ	ミズナラを主体とした広葉樹林が広がり、他にカエデ類が多くみられた。登頂にいくほど、岩石が露出したガレ場になっていたが、そのような場所にも多くの植物が生育していた。	登山者による利用が多くみられた。また、登山口(中央)付近には小さいがレクリエーション施設があり、利用者もみられた。	
4	市街地に隣接した自然林	自然度の高い地域	藻岩山	樹林	エゾイタヤ-シナノキ群落	天然記念物(藻岩原始林) 第2回緑の国勢調査特定植物群落 (札幌藻岩山天然林) 円山・藻岩鳥獣保護区 藻岩山風致地区	里山		カラマツ、ミズナラ、ヤマモミジ、シナノキ、ケヤマハンノキ、スギ(植)、シラカンバ、トドマツ(写真資料より)フクジュソウ、カタクリ、エゾエンゴサク、オオウバコリ、ヒメジョオン)	キツネ、エゾリス	札幌市を代表する観光地でもあり、天然記念物に指定されている良好な自然林。	登山、スキー場、観光施設(展望施設、駐車場、売店)	
5	市街地に隣接した自然林	自然度の高い地域	円山	樹林	エゾイタヤ-シナノキ群落	天然記念物(円山原始林) 第2回緑の国勢調査特定植物群落 (札幌円山天然林) 円山・藻岩鳥獣保護区 北海道神宮風致地区	里山	河川	ミズナラ、カツラ、ツルアジサイ、ハウチワカエデ、ハイイヌガヤ、サウシバ、アカイタヤ、シナノキ、オヒョウ、ホオノキ、ハリギリ、シラカンバ、アズキナシ、クマイザサ、アキタブキ、オオイトドリ、フクジュソウ、ヒメジョオンほか	エゾリス、シジュウカラ、ハシブトガラ、アカゲラほか	本地域は、天然記念物に指定され、長年にわたり保全されてきたことから、カツラ、オヒョウ等の大径木が生育しており、樹種も多様性が高い。林床はクマイザサが優占するため、草本類が目立たないが、沢地等や遊歩道沿いにシダ類や乾燥土壌に生育する種がみられる。散策路は登山道のほか地蔵を囲った霊山の役割もち、多くの人が利用している(踏査中に幼稚園の登山に遭遇した)。	札幌市民ほかによる散策路、樹林地等の利用、環境教育の場としても活発に利用されている。	ハリエンジュ
6	市街地に隣接した自然林	自然度の高い地域	野幌森林公園	樹林、湖沼	エゾイタヤ-シナノキ群落	道立自然公園野幌森林公園 野幌鳥獣保護区	里山	湖沼	ミズナラ、コナラ、シナノキ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、シラカンバ、キタコブシ、トドマツ	トンボ類、カケス	主に北広島市と江別市になるが、一部札幌市も含まれる。多くの地域住民から親しまれている公園。	トレッキングコース、環境観察会、小学生の課外授業などに利用されていた。	
7	市街地に隣接した自然林	自然度の高い地域	星置の滝	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	第2回緑の国勢調査特定植物群落 (手稲星置の滝自然林)	里山	河川、滝	ミズナラ、シナノキ、イタヤカエデ、オヒョウニレヤマガワ、オオイトドリ、ナナカマド、ツタウルシ、サウグルミ、ケヤマハンノキ、オオバコ、ツククサ、ゲンノショウコ、ミスヒキソウ、トリカブト、ヨブスマソウ、ヤチダモ、オオカメノキ、ハリギリ、ホオノキ、ミスヒキ	カラ類	非常に良好な二次林と水質の良い星置川からなる生物多様性の豊かな環境である。付近に駐車場がなく、車でのアクセスは難しい。	自然散策路となっており、平日だが複数の人が利用していた。	オオハングソウ
8	成熟した二次林	二次林人工林(カラマツ林)	白旗山	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	白旗山環境緑地保護地区 羊ヶ丘白旗山鳥獣保護区	里山	河川	ワラビ、カラマツ植林、トドマツ植林、ヨーロッパトウヒ植林、イチイ、ミズナラ、エゾイタヤ、ハルニレ、カツラ、サウシバ、オニグルミ、ホオノキ、キタコブシ、シラカンバ、ウダイカンバ、オオカメノキ、ミヤマアキノキリンソウ、アキタブキ、クマイザサ、チシマザサ、アキノギンリョウソウ等	エゾリス、シカ、キツネ、クマゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラ、キジバト、ミヤマカケス、ヤマガラ	本対象地は、広大な面積を有し、針葉樹の植林地と広葉樹の再生林(比較的年数を経た良好な樹林)を主体とする樹林地で、多数の沢地及び小河川を持つ。白旗山競技場、自然観察の森、有明の滝自然探勝の森、ふれあいの森等散策路も整備されており、幅広い年代の個人・団体が通年利用する施設である。	個人及び学校等による軽登山	ハリエンジュ

現地踏査結果一覧

No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
9	成熟した二次林	二次林	東部緑地	樹林、河川、湿地	エゾイタヤ-シナノキ群落	都市緑地	市街地	河川	ミズナラ、コナラ、シラカンバ、カツラ、ホオノキ、トチノキ、ヤマモミジ、ハウチワカエデ、イタヤカエデ、コシアブラ、シナノキ、ヤマウルシ、ツタウルシ、ウダイカンバ、ドロヤナギ、ケヤマハンノキ、ヤナギ類、ミズバショウ、ササ類	キツネ、シジュウカラ、ハシブトガラ、アカゲラ、ノシメトンボ、アキアカネ、イトトンボ類、ケバカスズメバチ、カワニナ、シデムシ類	住宅街のすぐ近くに位置する緑地で、ミズナラ、コナラやカンバ類が多く生育する河川沿いの良好な広葉樹林。遊歩道沿いには、植樹と思われる針葉樹が生育していた。湿地や沢も存在しており、そこを生息環境とするトンボ類が多く飛翔していた。緑地内部には、大曲川も流れており、水域に生息する動植物にとって良好な環境が残っていると考えられる。	パークゴルフ場、散策路	ハリエンジュ
10	成熟した二次林	二次林	平岡公園	樹林、河川、湿地	エゾイタヤ-シナノキ群落	総合公園	市街地	河川	ススキ、シラカンバ、オオヨモギ、オオアワダチソウ、オノエヤナギ、イヌコリヤナギ、ミズナラ、ヨシ、オニグルミ、ヤマモミジ、シナノキ、キタコブシ、クマイザサ、ミズバショウ、ミソソバ、オオカササゲ、オシダ、クサソテツ、ハンゴンソウ、ツリフネソウ、ヤナギトラノオ、オオバコ、アキタブキ、エゾヤマザクラ ほか	キツネ、トビ、オオルリ、クロツグミ、シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ、アオジ、センダイムシクイ、ハクセキレイ、キビタキ、ハシブトガラス、シオカラトンボ、キイロスズメバチ ほか	本調査地は、春季に梅の花が咲く公園として親しまれている。周辺樹林は時間の経過した二次林で、現在は良好な広葉樹林となっている。樹林内ではオオルリやクロツグミ、キビタキ等が生息し、沢地沿いの湧水からなる小川と湿原が身近に観察できるなど、環境教育上の昨日が極めて高い施設である。	付近の市民による散策、散歩、ジョギング。市民による湿原保全活動等	
11	成熟した二次林	二次林	国営滝野すずらん丘陵公園	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	国営公園	里山	河川	ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキ、ハルニレ、ホオノキ、ハリギリ、ハルニレ、シラカンバ、サウシバ、カラマツ(植)、トドマツ(植)、エゾマツ(植)、アカエゾマツ(植)、クマイザサ、シラネアオイ、ヤマジャクヤク、キツリフネ、オオウバユリ、トチバナシ、シラネウラボ、ハンゴンソウ、ミヤマアキノキリンソウ、イチヤクソウ、オニヤガラ、オオカワズスゲ、オオバタケシマラン、ツクバネソウ、ヤマイヌワラビ ほか	キツネ、エゾリス、クマガラ、コゲラ、アカゲラ、ウグイス、センダイムシクイ、シジュウカラ、ヤマガラ、オオルシ、キビタキ、ミヤマカケス、ウソ、ツチガエル、アマガエル、カナヘビ、モイワサナエ、オバボタル、エゾベニヒラタムシ、キマワリ、トラカミキリ、オオスズメバチ、キイロスズメバチ ほか	本対象地は、耕作放棄地を中心としたエリアを公園として整備し、30年が経過している。園内は順路や駐車場、トイレ、活動施設のほか、交通弱者に対する配慮もなされており、広く利用がされるよう設計されている。ふれあいの仕方としては、園内の展示やガイドによる情報収集が可能であるが、管理自体を公園が行う点で市民の介入する機会は少なくなっている。	札幌市民ほかによる散策路、湿地、樹林地等の利用。環境教育の場としても活発に利用されている。場内を移動するための交通インフラがバス、自転車、徒歩	アライグマ、オオハンゴンソウ
12	成熟した二次林	二次林	旭山記念公園	樹林、河川	緑の多い住宅地	藻岩山風致地区	里山	河川	ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキ、ハルニレ、ホオノキ、ハリギリ、シラカンバ、サウシバ、オノエヤナギ、ナナカマド、ヤマウルシ、ヤマモミジ、ヤマブドウ、サルナシ、カラマツ(植)、トドマツ(植)、カラマツ(植)、ヨーロッパトウヒ(植)、イチイ(植)、セイヨウハコヤナギ、クマイザサ、アキタブキ、オオイトドリ、フッキソウ、クズ、キツリフネ、ススキ、ミヤマアキノキリンソウ、エゾゴマナ、ミツバ、イヌタデ、オオバコ、ヒメジョオン ほか	ヒグマ、キツネ、シジュウカラ、ヤマガラ、ほか	本地域は藻岩山の登山道入り口にあたり、公園や研修施設をもつ自然性の高い環境と、年数を経たぬ植林地が隣接している。公園の利用者は、景観や自然とのふれあいを楽しむほか、研修施設で行われている各種行事や体験教室等により、身近な自然を体験することができる。踏査中も幼児をつれた母親や交通弱者の来訪が多く確認された。	札幌市民ほかによる散策路、樹林地等の利用。環境教育の場としても活発に利用されている。	オオハンゴンソウ
13	成熟した二次林	二次林	宮丘公園	樹林、河川、湿地	エゾイタヤ-シナノキ群落	総合公園	里山	河川	ミズナラ、ヤマグワ、アカイタヤ、ヤマモミジ、クリ、カラマツ、セイヨウハコヤナギ、ウラジロハコヤナギ、シラカンバ、ハエドクソウ、オオイトドリ、アキタブキ、クマイザサ、ミズバショウ、ミソソバ、ウド、オオカササゲ、ケヤマハンノキ、ヨツバヒヨドリ、ミヤマアキノキリンソウ、エンレイソウ、ナンゴズ、ルイヨウボタン、ヒトリシズカ、コウライテンナンショウ、フデリンドウ、ニリンソウ、ジュウモンジシダ、オオアワダチソウ、オオハンゴンソウ、ノラニンジン ほか	ヒグマ、シカ、キツネ、エゾリス、シジュウカラ、ヤマガラ、アカゲラ、エゾアカガエルほか	本地域は、公園として散策や休養に利用されるほか、ササ刈等のかく乱により里山の復元を試行的に実施している。地域のNPO(ニリンソウの会)等が活発に環境教育をおこなっているフィールドでもある。	札幌市民ほかによる散策路、樹林地等の利用。環境教育の場としても活発に利用されている。	ハリエンジュ、オオハンゴンソウ
14	成熟した二次林	二次林	手稲かっこの森	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	青少年キャンプ場	里山	河川	ハリエンジュ、シラカンバ、ススキ、アカイタヤ、カラマツ、ミズナラ、クマイザサ、オオアワダチソウ、オオアワガエリ、ハイヌガヤ、ハリギリ、ハウチワカエデ、ハルニレ、オオイトドリ、オノエヤナギ、オオヨモギ ほか	ヒグマ(情報)	本調査地は、時間の経過した二次林で、比較的良好な樹林であるほか、背後地の手稲山と連絡しており、豊かな自然が分布する区域である。そのため、ヒグマ等の出没情報が頻繁にあり、利用制限が行われることもある。夏季踏査に続き、秋季の林間の状況を観察するために再度現地踏査を行った。その結果、広い範囲でハリエンジュの生育が確認されたほか、水面位置や河川の現況が良好に観察された。	キャンプ場施設の利用(多くは学校等集団による利用)。地元NPOによる環境教育活動、登山者等ハイカーの散策路	ハリエンジュ
15	成熟した二次林	二次林	北大一の沢	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	北大一の沢鳥獣保護区	奥山	河川	ハルニレ、ミズナラ、ナナカマド	アカゲラ、ハシブトガラ、シジュウカラ。北海道公報による情報	北海道公報によると住民の自然観察の場として親しまれているらしい。現在は、近辺で道路拡幅工事が行われており、鳥獣の生息については不明。	近辺で工事が行われていること、住宅があることから一般利用者はほとんどいないと思われる。	
16	成熟した二次林	二次林	藤の沢	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	藤の沢環境緑地保護地区 藤の沢鳥獣保護区	里山	河川	ミズナラ、ハルニレ、エゾイタヤ、ヤマグワ、サルナシ、サウシバ、シナノキ、ハシドイ、カラマツ、トクサ、ササ類、フキ	アキアカネ、アブラゼミ、ヒヨドリ、キセキレイ、カラ類、キタキツネ	ボンオカバルシ川沿いの一部は、過去に札幌開発建設部により親水地的に整備されたらしいが、管理はされていないようで、現在は雑草等で覆われている。民地のすぐ裏になるので、歩行者はほとんどいないと思われる。	ボンオカバルシ川沿いから眺望することができる鳥獣保護区の樹林地。歩道があるらしいが明確ではなく未確認。利用者は地元住民がほとんどであると思われる。	

現地踏査結果一覧

No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
17	成熟した二次林	二次林	北大簾舞	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	北大簾舞鳥獣保護区	里山	河川	ミズナラ、エゾイタヤ、イヌエンジュ、ヤマグルワ、オニグルミ、ハルニレ、カラマツ	コムラサキ、モンシロチョウ、クマゲラ、カラ類、エゾリス	北大所有とみられるログハウスがある。雑草が刈られており、定期的には人はきている様子。クマゲラの鳴き声を聞いたので、良好な樹林が残されていると推測される。	民地が点在する道路に面する鳥獣保護区。歩道があるらしいが明確ではなく未確認。利用者は地元住民がほとんどであると思われる。	
18	成熟した二次林	二次林	札幌芸術の森	樹林、河川	エゾイタヤ-シナノキ群落	特殊公園	里山	河川	ミズナラ、ハルニレ、サワシバ、ハリギリ、エゾイタヤ、ハウチワカエデ、エゾマツ(植)、シラカンバ、シナノキ、ウラビ、クマイザサ、ヤマブドウ、アキタブキ等	エゾリス、シカ、シジュウカラ、ヤマガラ、オオスズメバチ	本対象地は、1986年にオープンし、1999年に15年にわたる整備を完了した40haの敷地を持ち鑑賞・発表・製作・研修・情報交流等各種芸術施設が点在している。特に野外劇場やアトリエ、野外彫刻等は周囲の森と一体となって札幌の芸術・文化を創造する精神を体現している。	個人・団体による屋外・屋内施設の利用	オオハングソウ、ハリエンジュ
19	成熟した二次林	二次林	真駒内緑ヶ丘	樹林	ミズナラ-カシワ-コナラ群落	真駒内緑ヶ丘鳥獣保護区	里山		ミズナラ、カンバ類、イタヤカエデ、アカイタヤ、ハウチワカエデ、ヌルデ、ナナカマド、ハリエンジュ、ホオノキ、ヤマウルシ、クリ、ツタウルシ、カツラ、シナノキ、ハルニレ、ヤマグルワ、アズキナシ、イヌエンジュ、ヤナギ類	アキアカネ、ノシメトンボ、ハシブトガラス	ミズナラ、カエデ類、カンバ類が生育している広葉樹林であった。また、札幌真駒内保健保安林にもなっており、一部荒れた部分もあるが歩道が整備されているため、ランニングやトレッキングのコース、野外観察会やキノコ狩り、小学生の授業にも利用され、地域住民に親しまれている緑地であった。鳥獣保護区内には、大きな水域はみられなかったが、アキアカネが多く飛翔しており、近傍の精進川や豊平川周辺や、平岡公園の池で産卵をしているものと考えられる。	ランニング、トレッキングコース、環境観察会、きのこ狩り、小学生の授業などに利用されていた。	ハリエンジュ
20	成熟した二次林	二次林	精進川上流	樹林、河川	ミズナラ-カシワ-コナラ群落	真駒内緑ヶ丘鳥獣保護区	里山	河川	ヤチダモ、ケヤマハンノキ、オノエヤナギ、ハルニレ、クリ、ミズナラ、ハリギリ、ヤマモミジ、ホオノキ、シラカンバ、サワシバ、エゾヤマザクラ、ハイイヌガヤ、オオカメノキ、アズキナシ、ヨシ、オオイトドリ、キツリフネ、ミヤマアキノキリンソウ、クマイザサ、アキタブキ、ハエドクソウ、エゾゴマナ、エゾヤマハギ、ウド、フタリシズカ、エゾノギシギシ、ヒメノガリヤス、イワヨモギ、ヤマブドウ ほか	キツネ、ヒヨドリ、ミヤマカケス	明らかに再生した二次林で、20年以上経過したものと考えられる。樹林は多様性に富み、林床も比較的薄暗く、多様な草本が生育している区域がみられる。林内は順路があるだけで、特に整備されていないが、順路は良く踏み固められて雑草の進入は少なく、比較的高い頻度で徒歩による通行があるものと考えられる。	ふみあのような順路があり、頻度は低い周辺の住民が利用している	
21	成熟した二次林	二次林	西岡公園	樹林、河川、湖沼	エゾイタヤ-シナノキ群落	西岡環境緑地保護地区 羊ヶ丘白旗山鳥獣保護区 羊ヶ丘風致地区	里山	河川、湖沼	ミズナラ、エゾイタヤ、ハリギリ、シナノキ、キタコブシ、クリ、カラマツ(植)、ヨーロッパトウヒ(植)、ブナ(植)、シラカンバ、ウダイカンバ、オオカメノキ、エゾゴマナ、ミヤマアキノキリンソウ、クマイザサ等	キツネ、エゾリス、シジュウカラ、ヤマガラ、ミヤマカケス、ウソ、スズメ、コガタスズメバチ等	本対象地は、明治期に旧陸軍の水道施設として月寒川をせきとめたことから利用が始まり、現在は様々な環境を有する特殊公園として地域に親しまれている。西岡ヤンマ団等にもみられる環境教育の取り組みがさかんで、生物多様性の保全にも積極的に取り組んでいる。	周辺住民や子供による散策路、湿地、樹林地等の利用。環境教育の場としても活発に利用されている	
22	成熟した二次林	二次林	札幌月寒羊ヶ丘自然林	樹林、沢	エゾイタヤ-シナノキ群落	第2回緑の国勢調査特定植物群落(札幌月寒羊ヶ丘自然林) 羊ヶ丘白旗山鳥獣保護区 羊ヶ丘風致地区	里山		ミズナラ、ハルニレ、シナノキ、サワシバ、アズキナシ、ハリギリ、シラカンバ、ヨーロッパトウヒ(植)、ヤチダモ、クマイザサ	キツネ、シカ、エゾリス、イタチ類、シジュウカラ、ヤマガラ、アカゲラ	札幌市を代表する観光地である羊ヶ丘公園に隣接する良好な樹林地で、ミズナラの大径木もみられ、自然性の高さがうかがわれる。	樹林地の散策、羊ヶ丘公園の利用(全国及び海外からの観光客による散策、スノーラフティング、スノーモービル等によるアクティビティ、ヒツジ等飼育 など)	
23	成熟した二次林	二次林	厚別川右岸台地斜面	樹林、河川	ススキ草原	石狩川水系豊平川支流	市街地	河川	コナラ、トドマツ、オノエヤナギ、エゾイタヤ、ヤマモミジ、ミズナラ、オニグルミ、オオモミギ、ススキ、ヤマブドウ、ホオノキ、エゾヤマハギ ほか	キツネ、エゾリス、シジュウカラ、ハシブトガラ、キジバト、ヤマガラ、ミヤマカケス、ウソ、シメ、スズメ、ヒヨドリ、アカゲラ 等	本対象地は、滝野公園方面から北側に伸びる厚別川右岸の台地上に成立した広葉樹の二次林で、良好な樹林が連続的に分布している。	樹林地の多くは殆ど利用されていないが、里塚霊園周辺の樹林では里山を利用した環境教育活動が行われている。	ハリエンジュ
24	成熟した二次林	二次林	真栄東公園	樹林	畑地	真栄特別緑地保全地区	市街地		コナラ、カラマツ、ホオノキ、エゾイタヤ、ブンゲントウヒ、ヤマモミジ、ナナカマド、シナノキ、クマイザサ、ツルアジサイ、ヨブスマソウ ほか	キツネ、エゾリス、シジュウカラ、ヤマガラ、ミヤマカケス、ウソ、スズメ、ヒヨドリ、アカゲラ 等	本対象地は、耕作地に植林を行ったもので、年数が経過したことから良好な樹林地となっている。とくに、コナラの大木やシナノキ等大径木も生育しており、エゾリス等の哺乳類も頻繁にみられる。	周辺住民や子供による散策路、樹林地等の利用	

現地踏査結果一覧

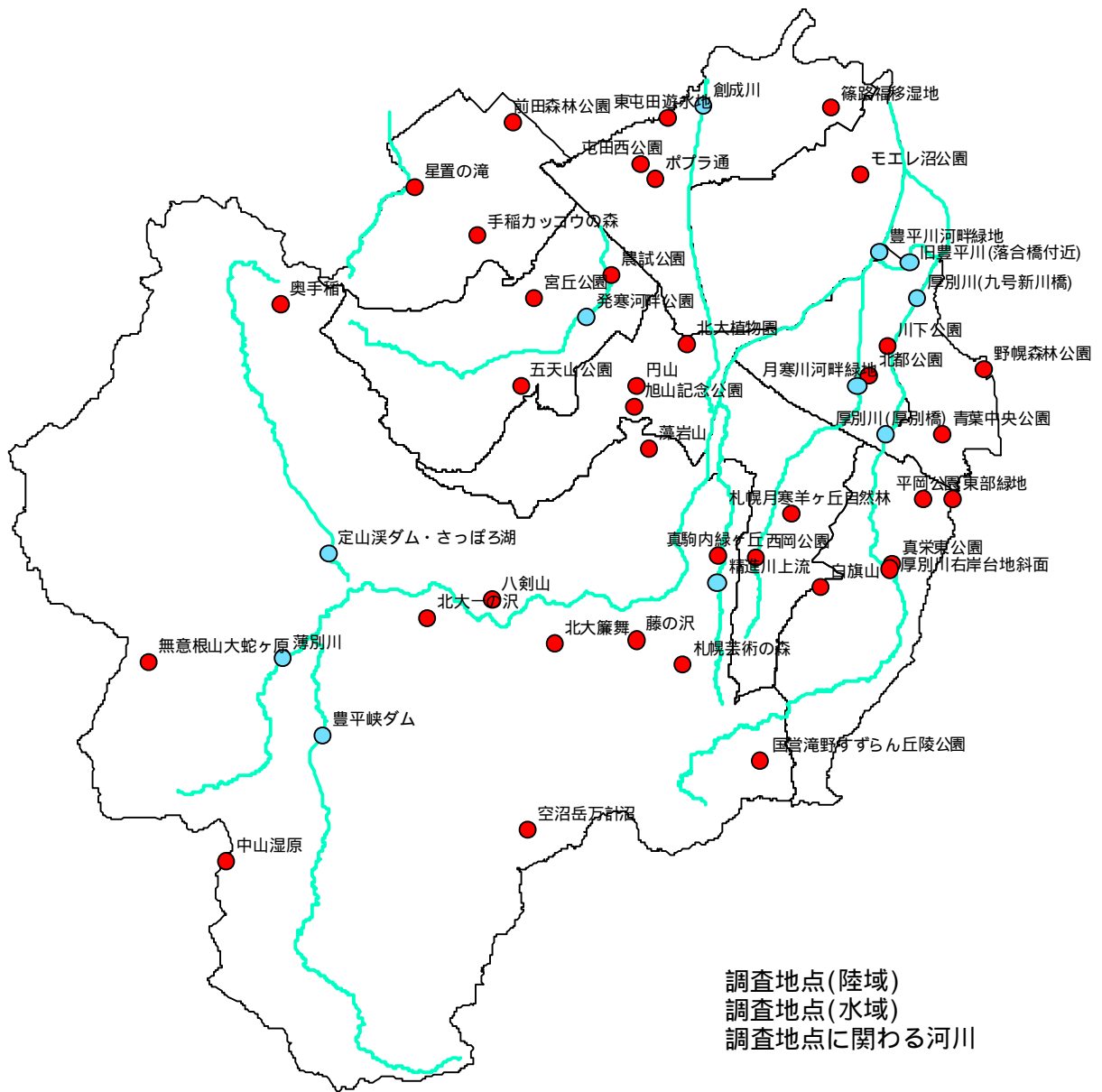
No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
25	成熟した二次林	二次林	青葉中央公園	樹林、河川、湿地	エゾイタヤ・シナノキ群落	地区公園	市街地	河川	ミズナラ、コナラ、ハウチワカエデ、ホオノキ、シラカンバ、サワシバ、ヤチダモ、オオカメノキ、アズキナシ、ナナカマド、コシアブラ、ミヤマアキノキリンソウ、クマイザサ、シシガシラ、オシダ、シナノキ、ハルニレ、ヤマグワ、ハエドクソウ、ミズバショウ、フッキソウ ほか	シジュウカラ、ヒヨドリ、センダイムシクイ、スズメ、アオジ ほか	本対象地は、南側から延びる台地の末端にある樹林地で、公園の南半分は私有地となっている。樹林内には過去に炭焼きが行われた跡もあり、二次林が時間の経過とともに良好な雑木林になっている状態であると考えられる。湧水箇所が多く、湿地植生も見られることから、生物多様性が高く、自然と触れ合える良好な環境となっている。	公園広場(運動場)の利用、散策路の利用、プール関連施設の利用等 一部で落葉の堆肥化施設がある	
26	市街地に昔から見られる緑地	防風林	ポプラ通	樹林	落葉広葉樹植林	ポプラ通風致地区	市街地		セイヨウハコヤナギ、ヤマグワ、トドマツ、ヤチダモ、イボタノキ、ナナカマド、ツルアリドオシ、オオヨモギ、サッポロスガ、オオウバユリ、ヒメジョオン、イヌタデ、マユミ、エソニワトコ、ハリギリ、オニグルミ ほか	エゾリス(情報)アカゲラ(情報)、ルリビタキ(情報)、ハヤブサ(情報)、カワラヒワ、ヒヨドリ ほか	本調査地は、市街地を南北に縦断する緑地帯で、風致地区に指定されている。順路は曲線が設けられ、移動景観に変化をもたせている。植物の構成種や動物の生息種は多く、市街地北部の重要な生物多様性拠点となっている。	付近の市民による散策等	
27	河川下流	河畔林	豊平川河川緑地	樹林、河川	耕作放棄地雑草群落	豊平川風致地区	河川	河川	オノエヤナギ、オオイトドリ、ナガハグサ、オオアワダチソウ、カモガヤ、ヨシ、クサヨシ、ヒメムカシヨモギ、メマツヨイグサ、フトイ、ノラニンジン、コウゾリナ、エソヤマハギ、クサフジ、ハリエンジュ、セイヨウハコヤナギ ほか	ハシブトガラス、スズメ、ムクドリ ほか	本調査地は、親水空間として計画されたもので、水辺に近づきやすいステップが設置されている。水際の樹林は比較的樹高が高く、水面の視程をさえぎっているが、水鳥にとっては良好な環境になっている。踏査時にも人の姿が多く見られ、利用頻度は高いと考えられる。	付近の市民による散策、散歩、ジョギング 子供による水遊び(踏査地下流ほか)	
28	河川中流	河畔林	月寒川河畔緑地	樹林、草地、河川	ススキ草原	石狩川水系豊平川支流	河川		シダレヤナギ、モミジバズカケノキ、アカエゾマツ、ブンゲンストウヒ、ナガハグサ、ヒロハウシノケグサ、ヘラオオバコ、ヒノキ類 等		本対象地は、月寒川沿いに立地した樹林地と人工草地で、殆どが植栽によるものである。	パークゴルフ場の利用、河畔での散策等	
29	河川下流	河畔林	東屯田遊水地	樹林、草地、河川、湖沼	ススキ草原	遊水地(東屯田川、発寒川の合流点)	河川	河川・湖沼	オノエヤナギ、ヨシ、オオヨモギ、ヒメジョオン、メマツヨイグサ、ムラサキツメクサ、ハルニレ、カラマツ、エソヒツジグサ、オオカササゲ、コオホネ、ヒシ、オオイトドリ、オオアワガエリ、ナガハグサ、ヒシ ほか	マガモ、オナガガモ、ハクセキレイ、カワラバト、キツネ、以下(情報)ギンブナ、イバラトミヨ、イトヨ、ウグイ、モツゴ、ウキゴリ、イソシギ、アオサギ、ハクセキレイ ほか	本調査地は、遊水地を公園として整備したもので、パークゴルフ場としての利用がさかんである。遊歩道は野鳥観察に適した施設が設けられるなど、生き物とのふれあいを良好にできる環境が整備されている。水鳥等の飛来を期待して2回目の踏査を実施した。水面の見通しは良く、散策路の利用者も多い。	パークゴルフ場の利用、散策路での散歩、観察など	
30	河川中流	河畔林	発寒河畔公園	樹林、河川	緑の多い住宅地	発寒川風致地区	河川	河川	ヤチダモ、ハリエンジュ、セイヨウハコヤナギ、オオヨモギ、ナガハグサ、オオバコ、オノエヤナギ、オニグルミ、ヌルデ、タラノキ、オオアワガエリ ほか		本調査地は、都市河川に隣接した公園で、河川沿いの樹林は比較的良好に生育している。河川沿いのヤナギ林は自然状態に近く、生物多様性は都市域では高いといえる。	遊具等の利用、散策路での散歩、観察など	
31	近年整備された公園	都市公園	前田森林公園	樹林、草地	落葉広葉樹植林	総合公園		里地	トドマツ、ブンゲンストウヒ、ヨーロッパトウヒ、シラカンバ、ハルニレ、ハリエンジュ、セイヨウハコヤナギ、オオアワダチソウ、アキノノゲシ、ススキ、ハマナス、ナガハグサ、クリ、ツリバナ、アキグミ、ツルヨシ、オオアワガエリ、ツルウメドモキ、ヘラオオバコ、ブナ	マガモ ほか	本調査地は、計画的に植樹が行われた樹木園的な公園で、人工的な景観を構成している。水辺にはマガモ等水鳥が飛来し、野生生物と触れ合える機会がある。草地の多くは緑化工であり、生物多様性は高くないが、林縁部の草地は様々な草本が生育しており、今後生物多様性が向上していく可能性がある。	管理された公園施設、利用者は散策や水辺での休憩、造成後時間が経過し、樹木は良く生長している。	
32	近年整備された公園	都市公園	五天山公園	樹林、草地	造成地	総合公園		里山	オオアワダチソウ、オオハングソウ、ユウゼンギク、シナガワハギ、ハリエンジュ、ノラニンジン、ススキ、オオヨモギ、オトコエシ、ヤマモミジ、アキタブキ、メマツヨイグサ、カモガヤ、ムラサキツメクサ、ヨツバヒヨドリ ほか	シオカラトンボ、ノシメトンボ、アキアカネ、ホタル(情報)、エゾサンショウウオ(展示)、ザリガニ(展示)ほか	本地域は、公園として散策や休養に利用されるほか、情報館において多くの生物情報が展示されている。また、地元NPOによる環境教育活動や調査活動が充実しており、今後重要な生物多様性拠点として機能していくものと考えられる。	札幌市民ほかによる散策路、遊具の利用、芝生エリアでの昼食等。環境教育の場としても活発に利用されている。	

現地踏査結果一覧

No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
33	近年整備された公園	都市公園 三日月湖	モエレ沼公園	樹林、草地、湖沼	ススキ草原	総合公園	里地	湖沼	オノエヤナギ、カラマツ、トドマツ、ブンゲンストウヒ、ハルニレ、ソメイヨシノ、ハウチワカエデ、ヤマモミジ、ツリバナ、モンタナマツ、オウシュウクロマツ、チョウセンヤマナラシ、ヤマグリ、ヨシ、ススキ、オオアワダチソウ、ツタ、ナガハグサ、カモガヤ、ヒロハウシノケグサ、シロツメクサ ほか	マガモ ほか	本調査地は、河跡湖に隣接する公園で、芸術関連施設と植栽木が計画的に配置されている。園内の樹林地は時間の経過とともに成熟しつつあり、また林床植物も比較的多くみられる。公園外周は散策路になっているが、そこからヨシ群落と水面が眺望でき、水鳥の飛来も見ることが出来る。本公園は、時間とともに生物多様性が向上しつつあると考えられ、今後低地部における生物多様性拠点として機能する可能性を持っている。	屋外彫刻の展示、来園者の散策、ジョギング、散歩 芸術施設と樹木とを融合させた施設として多くの利用者が訪れている。	
34	近年整備された公園	都市公園	川下公園(ふるさとの丘周辺)	樹林、草地	市街地	総合公園	里地		ネバリノギク、ウルシ、ツユクサ、オオヨモギ、シラカンバ、トチノキ、アカナラ、ゲンノショウコ、セイヨウタンポポ、ブタナ、ヒメジョオン、ノラニンジンふるさとの丘周辺は、オオアワダチソウが優占、5m程度の植栽木がみられる。	ノシメトンボ、アキアカネ、モンキチョウ	園内の樹木はすべて植栽と思われる。ライラック園の下草も芝で管理されている。ピクニック広場からふるさとの丘に向けて、自然散策路のような道がつけられている。	ライラックの森、水遊びのできる170mのカナール、バーベキューのできるピクニック広場、テニスコート、パークゴルフ場、野球場、温水プール、浴室等が整備され、多くの人に利用されている。	
35	近年整備された公園	都市公園	農試公園	樹林、草地、河川	緑の多い住宅地	運動公園	市街地	河川	シダレヤナギ、ハリエンジュ、トドマツ、シラカンバ、セイヨウハコヤナギ、キクイモ、ナガハグサ、カモガヤ、オノエヤナギ、オオイトドリ、エゾノギシギシ、シロツメクサ、ツタ、イチョウ、チョウセンヤマナラシ ほか		本調査地は、運動施設や遊具の利用を中心とした施設であるが、隣接する発寒川は多自然型工法が採用されているなど、比較的自然性が高い。公園自体は植栽木が中心で生物多様性が高い環境ではないが、隣接する八寒川との連絡により、身近な自然とふれあえる可能性を有している。	野球場等運動施設、温室等屋内施設、遊具等の利用 散策路での散歩、観察など	
36	近年整備された公園	都市公園	北都公園	樹林、草地	市街地	近隣公園	市街地		モミジバズカケノキ、ハリエンジュ、ナナカマド、ソメイヨシノ、ナガハグサ、カモガヤ、ヒロハウシノケグサ、ヘラオオバコ、ブタナ、シロツメクサ 等		本対象地は、運動施設や遊具を中心とした公園で、周囲に比較的年数を経た樹木が生育している。	周辺住民や子供による遊具、広場の利用	
37	近年整備された公園	都市公園	屯田西公園	樹林、草地	造成地	運動公園	市街地		モミジバズカケノキ、セイヨウハコヤナギ、ヨーロッパトウヒ、ナナカマド、モンタナマツ、チョウセンヤマナラシ、シロツメクサ、ナガハグサ、ヘラオオバコ ほか	ハシブトガラス	本調査地は、ボブラ通に連絡する公園で、その多くはパークゴルフ場として利用されている。このほか遊具施設もあり、市民が身近に緑を楽しめる施設でもある。ただし、自然性の高いボブラ通に連絡しており、針葉樹等がエゾリスの採餌地として利用される可能性もあり、生物と触れ合える施設となる可能性がある。	パークゴルフ場の利用、遊具の利用	
38	湿地(高山)	山地湿原	無意根山大蛇ヶ原	湿地	エゾマツ-ダケカンバ群集	支笏洞爺国立公園 第2回緑の国勢調査特定植物群落 (無意根山大蛇ヶ原湿原植生) 第5回緑の国勢調査対象湿地 (大蛇原湿原)	奥山	湿地	大蛇が原:針葉樹、ナナカマド、ササ類 林道-登山道:ミズナラ、エゾイタヤ、ハウチワカエデ、アカイタヤ、オビョウ、ハルニレ、ヤナギ類、針葉樹、ヌルデ、ハリギリ	大蛇が原:ヤンマ類(トンボ)、ゴジュウカラ 林道-登山道:ゴジュウカラ、イタチ類、キジバト、アカトンボ	登山道にあることから、植生の踏みつけ等による、湿生植物の衰退が顕著になってきており、平成19年度から植生の回復措置(管理歩道の切替)が行われている。湿地周辺では、鳥の鳴き声が頻りに聞かれ、トンボも飛来していたことから、生物にとって重要な環境となっていると考えられる。	無意根山登山道の途中にある湿地で、登山客に親しまれている場所。	
39	湿地(高山)	山地湿原	中山湿原	湿地	ササ-ダケカンバ群集	支笏洞爺国立公園 第5回緑の国勢調査対象湿地 (中山湿地)	奥山	湿地	ササ類、スゲ類、針葉樹	キツネ、エゾシカ 移動中:エゾサンショウウオ、トガリネズミ類	送電線したの伐採された場所を通ると湿地が存在する。湿地周辺には針葉樹がまばらに生育している。湿地の面積はそれほど大きくはないが、湿地周囲はササ類が繁茂しており、比較的乾燥していることから、湿潤な環境を好む動植物の重要な生息地となっていると考えられる。	湿地に生育する植物の観察のために訪れる人がいる程度と思われる。	
40	湿地(低地)	平地の残存湿原	篠路福移湿地	樹林、草地、湿地	耕作放棄地 雑草群落		里地		オノエヤナギ、ハリエンジュ、チョウセンヤマナラシ、オオアワダチソウ、ヨシ、イヌタデ、アカザ、ススキ、エノコログサ、イヌビエ、オオイトドリ、ガマ、ヤナギラン、ワラビ、メマツヨイグサ、ハリウツギ、ヤマドリゼンマイ、クサヨシ ほか	アオヤンマ?、ムクドリ、カワラバト ほか	本調査地域は、ヤナギ林等により接近が難しく、また保全を重要視していることから、不特定多数が気軽に接近できる環境にはない。NPO法人によるトラスト運動が行われ、市民による湿地の保全が行われている。	保全を目的とした湿地なので原則的に利用するための整備はない。NPO法人による保全を目的とした環境教育のイベント等が実施されている。	

現地踏査結果一覧

No.	現地踏査の区分	生態系	調査地	土地利用	代表的な周辺植生	指定状況	ゾーン	水域	周辺で確認された植物	確認動物	風景等	利用状況	特定外来種ほか
41	市街地に昔から見られる緑地	平地の残存湿原	北大植物園	樹林、湧水地	緑の多い住宅地	重要文化財	市街地	湧水地	ハルニレ、オニグルミ、ブナ、ミズナラ、ハエドクソウ、ツリバナ、ヤマウルシ、シラネアオイ、ヤマドリゼンマイ、ミズヒキ、ハリエンジュ、エゾイタヤ、サラシナショウマ、ウダイカンバ、シナノキ、アカシデ、アキタブキ、カツラ、ヨブスマソウ、エゾニワトコ、トクサ など	ハシブトガラス、スズメ など	本調査地は、北海道大学の研究施設であり、湧水地周辺の湿地も包含している。樹林地は、植栽と天然林が混在しているが、樹林としての成熟度は高く、多様性に富んだ良好な環境が観察できる。施設の利用は有料で、このため市民が気軽に活用できるものではないが、都市中心部においては貴重な自然が良好に保存された希少性の高い区域である。	北海道大学による樹木等管理と実験施設観光客、付近の市民の来訪と散策	
42	河川上流	河川	薄別川	樹林、河川	下部針広混交林	支笏洞爺国立公園	河川	河川	ミズナラ、ハルニレ、トドマツ	クマガラ	定山溪トンネル札幌側の坑口の急カーブから、良い景色がみられると思われるが、停車できるスペースがない。	定山溪トンネル札幌側の出口のパーキングや車で移動中に橋梁上から樹林部を見ることができ、鑑賞を目的に利用する人はあまりいないと思われる。	
43	河川中流	河川	厚別川(厚別橋)	樹林、河川	ススキ草原	石狩川水系豊平川支流	河川	河川	ヤナギ類、シラカンバ、ハリエンジュ、オオアワダチソウ、ススキ、オオヨモギ	ドバト、ノシメトンボ、アキアカネ		河川の利用はない。	
44	河川中流	河川	厚別川(九号新川橋)	樹林、河川	ススキ草原	石狩川水系豊平川支流	河川	河川	オオアワダチソウ、ノランシジミ、オオイトドリ、アカツメクサ、ハンノキ、ヤナギ類、スギナ、ネバリノギク、	ヒナバタ多数、ノシメトンボ、アキアカネ、モンキチョウ	周辺に、山本処理場、環状夢のグリーンベルト発祥記念の森等がある。シラカンバ、アカエゾマツ等が植栽され、近くの空き地はオオハンゴンソウ、ヤナギ類等がみられる。	河川沿いに自転車道が整備されているが、あまり利用されていない。	
45	河川下流	河川	旧豊平川(落合橋周辺)	樹林、河川	耕作放棄地雑草群落	石狩川水系豊平川支流	河川	河川	ヤナギ類、オオイトドリ、クサヨシ、ヤマグワ、キツリフネ、オオアワダチソウ、ヤマブドウ、ツユクサ、ヒメジョオン、クサフジ、オオヨモギ、ススキ、ネバリノギク、トクサ、サウグルミ、ノランシジミ	トビ、ハシブトガラス、アオサギ、ノシメトンボ、アキアカネ、センダイムシクイ、カワラヒワ、	水量は少なく、アオコが発生し汚い。高木は10mくらい。トラックの往来が激しい。	河川沿いに自転車道や駐輪場が整備されているが、ほとんど利用されていない。	
46	河川下流	河川	創成川	樹林、河川	耕作放棄地雑草群落	創成川下風致地区	河川	河川	セイヨウハコヤナギ、オニウシノケグサ、ヒロハウシノケグサ、ナガハグサ	情報)カイツブリ、マガモ、コガモ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス ほか	本調査地は、市内を南北に流下する河川沿いの緑地を対象とした。河川沿いには多くの鳥類の息音が確認されており、公園施設ではないが、生き物と触れ合うことができる重要なスポットであると考えられる。	特に利用はなし	
47	湖沼	湖沼	定山溪ダム・さっぽろ湖	樹林、湖沼	下部針広混交林	支笏洞爺国立公園 定山溪鳥獣保護区	湖沼	湖沼	ナナカマド、サクラ、カツラ、ミズナラ、シラカンバ、ツリバナ、ハンノキ、ツツジ類、ホオノキ、キタコブシ	カラ類、カケス	さっぽろ湖周囲を走る道路沿いに展望スペースがあるが、トンネル工事のため第3展望台までとなっている。	車による移動になるが、所々に展望スペースがあり紅葉時期には利用者が多くみられる。札幌市民以外の利用も多い。	
48	湖沼	湖沼	豊平峡ダム	樹林、湖沼、岸壁	下部針広混交林	支笏洞爺国立公園	湖沼	湖沼	カエデ、ヤマブドウ、ナナカマド、カツラ、ミズナラ、シラカンバ、ハンノキ、ツツジ類、ホオノキ、キタコブシ	カラ類	平日はそれほど利用者は多くみられないが、紅葉時期の休日には混雑しそう。また、少人数の旅行コースにも使われている。	駐車場まで車で行ける。そこから徒歩か電気バスによりダムまで移動する。定山溪ダムとセットで観光スポットとして多くの人に利用されている。	



現地踏査地点位置図